

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	MMC + 5-FU
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	肛門がん
保険適応外の使用	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
入院外来区分	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 外来

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	An-001
登録日・更新日	2024年10月22日
削除日	
出典	Journal of Clinical Oncology, Vol 14, No 9 (September), 1996: pp 2527-2539
入力者	田中 慎

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	マイトマイシンC (マイトマイシン注)	2mg、10mg	10mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	全開投与	day1、29
	生理食塩液	100mL				
No.2	フルオロウラシル注射液 (フルオロウラシル)	250mg、1000mg	1000mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	24時間	day1~4、29~32
	生理食塩液	500mL				

1コースの期間	35日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日)・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	【減量・中止基準】 WBC 1,000~2,400/ μ L または Plt 50,000~85,000/ μ L の場合 → MMC投与量を7.5mg/m ² に減量。 WBC 1,000/ μ L未滿 または Plt 50,000/ μ L未滿の場合 → MMC投与量を5mg/m ² に減量。 day28にWBC 2,400/ μ L未滿 および/または Plt 85,000/ μ L未滿の場合 → 化学療法とRTの第2サイクル目を1週間遅らせる。
催吐性リスク	軽度
前投薬	なし
支持療法(その他)	なし
その他の注意事項	【マイトマイシンC】 ・1回最大投与量 → 20mg/body ・マイトマイシンC 2mg(力価)当り、5mLの割合に日局生理食塩液を加えて溶解する。 【フルオロウラシル】 ・1回最大投与量 → 2000mg/body 【その他】 ・放射線と併用する。